

探してみよう!!かみぐろせ

慶雲寺厨子及び観音像



上黒瀬全景



伊保山神社子供太鼓

上黒瀬住民自治協議会

上黒瀬のことをもっとしてもらいたい!! そんな思いからこのマップを作りました。みなさんは何ヶ所知っていましたか。上黒瀬にはこんなにたくさんのお寺・旧跡があります。散歩のついでに立ち寄って、いにしえの世界に足を踏み入れてみてはいかがでしょうか。

制作にご協力いただいた方

行友徹夫、貫名敏廣(以上郷土史研究会)、木本豊子、梶田真奈美(以上上黒瀬小学校)、川崎康平、稲見汐音(以上上黒瀬国際大学)、村上義則、佃建五、藤原博明、荻谷仁、河野時雄、大垣博之、田坂達哉、廣橋建樹、森玲子、波多野洋荘、若狭広明、貫名茂雄、服平智美、寺岡希和子、木村純、貫名英春
地域の皆様、取材の節は大変お世話になりました。ありがとうございます。

協賛企業 (順不同)

- 1 **黒瀬ダム**
黒瀬川の支流、ガガラ川にある農業用貯水池です。周囲は約2kmでウォーキングに適しています。湖畔(こはん)には500本の桜が植えられています。
- 2 **八荒神七社**
柳田地区の北部、現在の下も原地区にあります。南向きで農作物がよくできる土地ですが、大雨の度に橋が流され陸の孤島(ことう)となりました。ここには八荒神が居ますが七つの社しがなく、一荒神が襲れるので人が住めないとの言い伝えがありました。現在は改修工事が行われ、たくさんの方がお住まいです。
- 3 **岩幕山山麓遺跡**
町内で現存確認されている最古の構築物は、古墳時代の保田古墳(やすだこふん)と岩幕山古墳(いわまくやまこふん)です。古墳は地域有力者の墓であることから、古代より開けた村が存在していたとされています。付近では弥生時代土器が出土しています。また、弥生時代後期後半と推定される竪穴式住居跡(たてあなしきゅうきょあと)が見つかっています。1号古墳、2号古墳は現存していません。3号古墳は直径16mの円墳横穴式石室(えんふんよこあなしきせきつ)です。出土品から6世紀後半に造られたと推定されます。現在市指定文化財に指定されています。
- 4 **旧海軍送水管敷設地**
西条三永水溜池(さいじょうみながすいげんち)から長平浄水場(ながへいじょうずいじょう)に送水するために海軍によって造られました。

- 9 **兼光池分水**
ため池はお米を作るのにも大切な施設です。昔の人は水を分けるにも事細かに取り決めをしていました。今でもその取り決めが活かされています。
- 10 **伝染病隔離病舎跡**
病院があまり発達していない頃、伝染病患者が治療(ちゆう)するが死亡するまでこの病舎(びやうしゃ)で生活しました。
- 11 **塚ヶ畦遺跡**
兼光池(かねみつひけ)から上黒瀬小学校にかけての丘陵地帯(きゅうりょうちたい)にあります。弥生土器などが出土しています。
- 12 **大歳神社**
農業、穀物の神様を祀(まつ)っています。
- 13 **東穀荒神社**
農業、穀物の神様を祀(まつ)っています。

- 18 **広地橋**
大正4年広長浜(ひろながはま)~西条間の県道の開通時には、木橋(もつきょう)がすでに架かっていたそうです。
- 19 **南方廻馬場跡**
上黒瀬村だけでなく周辺の村からも多くの参加があり、戦前まで盛大に競馬が行われていた場所です。
- 20 **古川社倉跡**
飢饉(ききん)に備えて穀物を蓄(たくわ)えておいた倉です。
- 21 **古川神社**
黒瀬町内で唯一、製鉄や鍛冶(かじ)の神様を祀っています。創建(そうけん)年代ははっきりしません。社伝(しゃでん)によると貞享(じょうきやう)5年(1688年)本殿(ほんでん)を新建立(しんこんりゅう)、大正8年(1919年)近くの山から切り出した石で鳥居が建てられました。
- 22 **稲荷神社**
農業、穀物の神様を祀(まつ)っています。
- 23 **穀神社**
農業、穀物の神様を祀(まつ)っています。
- 24 **大番神社**
祭壇(さいだん)に大番池(おおばんひけ)から出した古木(こぼく)を祀(まつ)っています。

- 27 **上黒瀬小学校の歴史**
1871年(明治4年)宗近柳田村に強忍館(きやうじゆかん)、南方村に誠意館(せいいかん)が設置された。
1874年(明治7年)学制に基づいて、強忍館は宗近小学校に、誠意館は南方小学校に改称。
1886年(明治19年)二つの小学校を合併し、賀茂小学校公立片山小学教場を設ける。
1887年(明治20年)柳田簡易小学校と改称。
1891年(明治24年)上黒瀬小学校と改称。
1903年(明治36年)現上黒瀬保育所に移築され、上黒瀬尋常高等小学校(かみぐるせしんじゆこうとうしょうがっこう)と改称。
1941年(昭和16年)上黒瀬国民学校と改称。
1947年(昭和22年)上黒瀬村立上黒瀬小学校と改称。
1948年(昭和23年)校歌制定。
1954年(昭和29年)村合併・町制施行により黒瀬町立上黒瀬小学校と改称。
1981年(昭和56年)現在地に移転。(宗近柳田家塚271-2)
1985年(昭和60年)屋内運動場竣工。
1988年(昭和63年)プール竣工。
2005年(平成17年)町合併により東広島市立上黒瀬小学校と改称。

- 32 **岩谷穀神社**
農業、穀物の神様を祀(まつ)っています。
- 33 **十一面観音堂**
御本尊(ごほんぞん)は、十一面観音です。ある時、泥棒が観音様を盗み出しましたが、その時から不幸が続く、恐れをなした泥棒が返したという逸話(いつわ)が残っています。平成30年に光岩堂(こうがんどう)に移されました。
- 34 **岩谷地蔵堂**
現在の地蔵堂は、平成2年に再建されたものです。
- 35 **圓龍寺跡**
茶白山(ちやうすやま)から元和(げんな)9年に、この場所に移築されました。その後、廃寺(はいし)となりました。

- 40 **洪神社**
元は平賀(ひらが)氏が祭祀(さいし)していましたが、後に洪(しゆ)地区の氏神(うじがみ)となりました。祭神(さいじん)は水の神様です。安芸津(あきつ)の海で拾った石がご神体(しんたい)で、ウナギに纏(まつ)わる言い伝えがあります。
- 41 **建徳寺跡**
昔、虚空蔵山(こくうざうさん)の麓(ふもと)に住んでいたと作(よさく)の妻(よめ)に母乳(ちち)が出なくて困っていた時、夢に薬師如来(やくしにょらい)が現れ、「この薬を飲んでみよ」とのお告げがあり、受薬(じゆやく)したら忽(たちま)ち出るようになり、それから薬師如来を本尊(ほんぞん)として信仰(しんこう)してしました。いつの間にか本尊(ほんぞん)が行方不明になり、その場所に不動明王(ふどうみょうおう)を祀(まつ)っています。
- 42 **地蔵堂**
建徳(けんとく)寺にあった地蔵尊(じざうぞん)と虚空蔵菩薩(こくうざうぼさつ)を祀(まつ)っています。
- 43 **穀神社**
農業、穀物の神様を祀(まつ)っています。

- 5 **川田追神社**
大林家一族(おおばやしけいちぞく)の氏神様(うじがみさま)です。
- 6 **道標標石**
昭和初期の道路標識(ひょうし)です。平成に新しく建て直されました。
- 7 **八王子神社**
祭神(さいじん)は五男神三女神(ごだんしんさんにょしん)です。享保(きやうぼう)8年(1723年)8月現在地に神様を迎え、安政(あんせい)4年(1857年)社殿(しゃでん)を再建し大正の頃改築(かいしきゆ)しました。本殿は流造(ながれづくり)と呼ばれる神社建築としては一般的なものです。毎年7月にお祭りをしています。

- 14 **夫婦石**
夫婦石は旧黒瀬上黒瀬支所の南、上黒瀬と安浦を結ぶ旧道の橋(かじ)地区にある二抱(ふたかか)えほどの一對の石です。昔ある願いをもって神社仏閣(じんじやぶつかく)巡りをしていた修行者の夫婦が、この地で相次いで病で亡くなりました。志半(こころざしなか)ばで倒れた夫婦を憐(あわ)れんで地区の人達が埋葬(まいそう)し供養(くやう)を続けました。夫婦石を粗末(ぞまつ)にした者には祟(たた)りがあり、不敬(ふけい)の行為をしてはならないといわれています。
- 15 **竹保穀神社**
祭神(さいじん)は穀物の神様で、毎年10月にお祭りが行われています。
- 16 **竹保観音堂**
竹保(たけやす)地区の中央にある観音堂には、本尊観音菩薩(ほんぞんかんのんぼさつ)と阿彌陀如来(あみだにょらい)があり、如来像は桃山時代のもので推定されています。また19世紀からの大型土堂(つじどう)【お説教をする場所】もありです。現在は毎年3月に法要(ほうやう)が行われています。

- 25 **慶雲寺**
大内(おおうち)家の家臣(かしん)麻生筑前守(あそうちくぜんのかみおきほ)が大永(たいえい)6年(1526年)黒瀬之庄南方(くろせのしょうみなみかた)に観音堂を建立(こんりゅう)し、志和生城山(しわおぎやま)より正観世音菩薩木像(せいかにせおんぼさつもくぞう)を移して一族郎党(いちぞくろうどう)の霊(たま)を祀(まつ)りました。主家大内氏の滅亡(めつぼう)により麻生筑前守(あそうちくぜんのかみおきほ)が武士を捨てて南方(みなみかた)に転住(てんじゆ)し、縁(えい)10年(1567年)生城山慶雲庵(せいじやうざんげんいあん)【禅(ぜん)しゆ】を建立しました。寛永(かんえい)7年(1630年)8世住持(しゆ)として生まれ真宗(しんしゆ)を学びました。明治6年より広島県立医学部(りく)に入塾(にゅうじゆく)し、住職として働く傍ら医師として活躍(かつやく)しました。衰退(すいたい)していた寺を再興(さいきゆう)しようとして、当時としては画期的な手術(じゆ)のできる医者でしたが、貧しい人には無料で診察(しんさ)しました。また、私財(しさい)を投じて橋を架けたり、教育にも貢献(こうけん)しました。1927年10月30日、84歳で亡くなりました。
- 28 **圓龍寺堂**
建(けん)2年(1190年)に延光法師(えんきやうぼうし)が薬師如来(やくしにょらい)を祀(まつ)り、高さ19.6mの影立(えいり)を本尊(ほんぞん)として、真言宗岩谷山圓龍寺(しんこんしゅういわたにやまえんりゅうじ)を開きました。その後元和年間(げんなねん)に柳田(りゅうでん)が真宗(しんしゆ)をよりどころとし阿彌陀如来(あみだにょらい)を設置(せいち)しました。境内には花崗岩(こうがん)の巨岩群(きやうがんぐん)があり、その中に長さ約8m、直径0.7mの自然にできた岩穴(いわく)があり「くわい」と呼ばれています。

- 29 **岩谷古墳**
団地開発時に発見された円墳(えんふん)、箱式石棺(はこしきせつかん)で内部は木塗(しゆぬ)りされ棺内(ひつぎない)より鉄器が発見されました。現在は残っていません。
- 30 **午鼻神社**
農業、穀物の神様を祀(まつ)っています。
- 31 **榎野山神社**
祭神(さいじん)として、三神(さんしん)が祀(まつ)られています。本殿は元禄(げんろく)5年(1692年)に再建されたもので、一間社流造(いっけんしゃながれづくり)としては町内最古(さいこ)になります。歴史は1320年頃(ころ)であり、大正時代の初めまでは神社の前に馬場(ばば)があり、秋祭(あきまつり)には旧賀茂郡(きやうかもくん)内より競走馬(きやうそうば)が来て競馬(きやうば)が行われていました。

- 36 **光岩堂**
天応(てんおう)2年(1320年)紀州国(きしゅうこく)住人(ぢゆうじん)鈴木三郎左衛門義興(すずきさぶろさへもんよしか)が岩前山(いわまへやま)(315m)の光る岩(みつるいわ)を祀(まつ)り、岩谷(いわや)を永住(えいぢゆう)の地と定めました。文正(ぶんしやう)の頃(1466年)鈴木右衛門入道(しゅうでんどう)が、光る岩を本尊(ほんぞん)とし真言宗岩谷山圓龍寺(しんこんしゅういわまけやまこうりゅうじ)を創建(そうけん)し、明暦中(めいれきちゆう)(1655~1657年)僧行圓(そうぎやうえん)が真宗(しんしゆ)に改宗(かいしゆ)しました。現在は、幕改(まくか)い、地域(ちゆうぢ)で共有(きやうぎ)されています。* (圓龍寺、十一面観音堂の本尊は光岩堂内(こうがんどう)内に安置されています)
- 37 **岩谷社倉跡**
飢饉(ききん)に備えて穀物を蓄(たくわ)えておいた倉です。

- 44 **長貫神社**
いつの時代か不明ですが、宗近柳田(むねちゅうでん)にある伊保山(いばやま)神社から分神(ぶんしん)され、長貫地区の氏神(うじがみ)として祀(まつ)られています。昭和35年に建替えの時、北向きから南向きになりました。
- 45 **虚空蔵山石龜**
虚空蔵山(こくうざうさん)の山頂(さんてい)に自然石を掘った石龜(せきかま)【石で造った塔】があります。この中に黄金仏(おうごんぶつ)が埋め込まれていましたが、盗まれて今はありません。

- 8 **伊保山神社**
このお宮は、平安時代(1045年)に大分県にある宇佐八幡宮(うさはちまんぐう)から分霊(ぶんれい)され、伊保山峰(いばやまのね)に祀(まつ)られました。黒瀬町内では3番目に古い神社です。室町時代になって現在地に移築されています。明治時代から昭和20年の戦前までは上黒瀬村の村社(そんしゃ)となり、上黒瀬村全体で祀(まつ)っていました。戦後は柳田(やなぎた)に、梶(かじ)、竹保(たけやす)、梶原(かじはら)地区の氏神(うじがみ)として祀(まつ)られていましたが、年々(としとし)衰(すた)えてきたのを憂(うれ)い、昭和55年に地区の若者が結束(けつそく)し、秋祭(あきまつり)を盛り上げるようになり、今も盛大に秋祭りが続いています。

- 17 **竹保水神祠群**
竹保(たけやす)地区には、水神社(すいじんじや)が5ヶ所設置されています。

- 26 **行友静真功德碑**
行友静真氏は、1843年4月4日、慶雲寺(けいうんじ)15世住持(しゆ)麻生直進(あさおきしん)の子として生まれ真宗(しんしゆ)を学びました。明治6年より広島県立医学部(りく)に入塾(にゅうじゆく)し、住職として働く傍ら医師として活躍(かつやく)しました。衰退(すいたい)していた寺を再興(さいきゆう)しようとして、当時としては画期的な手術(じゆ)のできる医者でしたが、貧しい人には無料で診察(しんさ)しました。また、私財(しさい)を投じて橋を架けたり、教育にも貢献(こうけん)しました。1927年10月30日、84歳で亡くなりました。

- 38 **稲荷社**
農業、穀物の神様を祀(まつ)っています。
- 39 **ゲンインさん**
岩谷(いわや)の南の竜王山(りゅうおうざん)の頂上(ていじやう)に自然石を積んで造った祠(ほこら)です。内部には3個の天然の丸石が安置されています。ゲンインさんとは、天狗(てんく)がなまったものとの説もあります。

- 46 **広島国際ゴルフ倶楽部**
1967年10月23日に開場した福井八十八(ふくいやそはち)氏の設計による丘陵(きやうりやう)コースのゴルフ場です。起伏(きふく)が少なく、フェアウェイも幅広い、のびのび打てるコースです。